

令和8年度 第2回学校運営支援協議会

日時 令和8年9月15日(火) 14:45～

(授業参観 13:55～14:40)

場所 弥栄小学校 校長室

次 第

進行：副校長

- 1 開会のことば
- 2 会長挨拶
- 3 校長挨拶
- 4 協 議
 - (1) 1学期まなびフェストアンケート学校評価結果について
 - (2) 学校支援活動の推進について
 - (3) 弥栄っ子に望む姿について
 - (4) その他
- 5 その他〈連絡事項など〉
- 6 閉会のことば

弥栄小学校運営支援協議会

令和8年度弥栄小学校運営支援協議会名簿

No	氏 名	所属・役職等	連絡先	備 考
1		元学校評議員	R5. 4. 1～	
2		弥栄市民センター長	R5. 4. 1～	
3		弥栄地区民生委員児童委員協議会 会長	R5. 4. 1～	
4		主任児童委員	R8. 4. 1～	
5		P T A会長	R8. 4. 1～	
6		校 長	R7. 4. 1～	
7		副校長	R6. 4. 1～	
8				
9				

〈諸活動での弥栄っ子の様子〉

--	--	--

6/19 P T A救急救命講習会

6/24 陸上記録会

6/29 引き渡し訓練

--	--	--

7/2・3 5年生宿泊学習

7/8・9 5・6年生滝沢小との交流学习

7/15 5・6年生思春期講演会

--	--	--

7/22 5・6年生着衣水泳

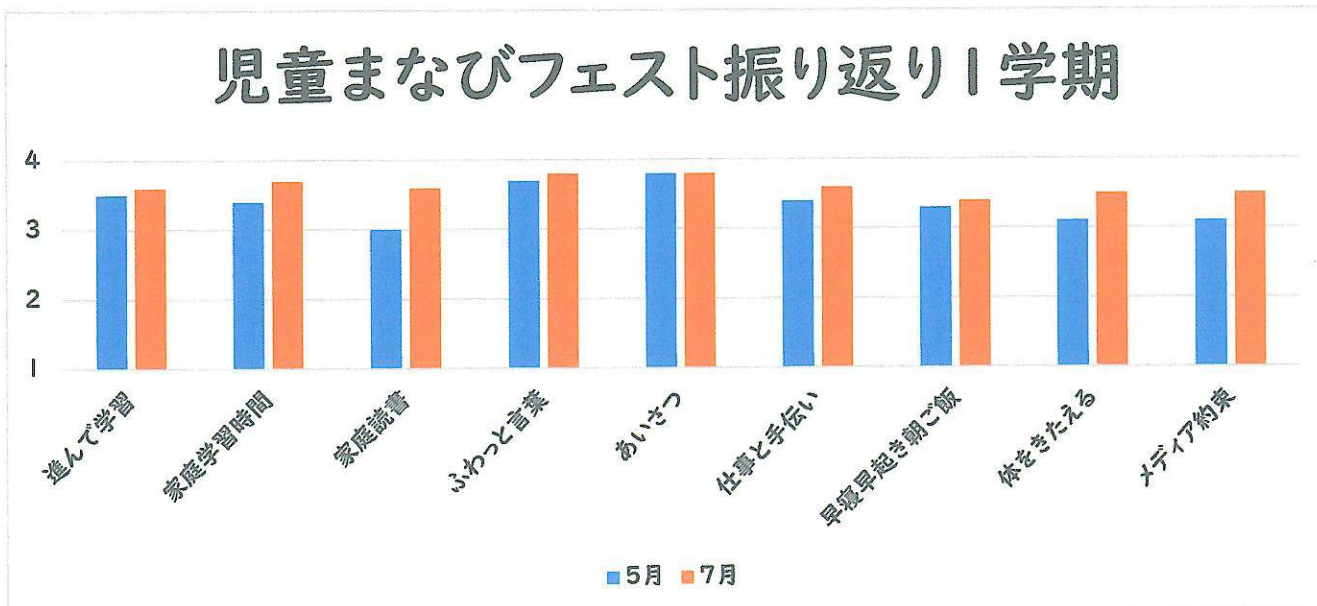
8/24 夏休み作品・自由研究発表会

8/28 3・4年生着衣水泳

4 協議

(1) 1学期まなびフェストアンケート・学校評価結果

①「まなびフェスト」1学期 児童のふりかえり



1 成果として見られる点

(1) 家庭読書の伸び

5月から7月にかけて、家庭読書に大きな伸びが見られた。読書習慣の定着に向けた前向きな変化がうかがえ、家庭での声かけや児童自身の工夫が成果につながっていると考えられる。

(2) メディアの約束への意識化

メディアの約束を意識して生活することで、読書に向かう時間を確保できた児童が見られた。タイマーや端末の時間設定機能の活用など、具体的な行動の変容も見られている。

(3) 家庭学習の成果

弥栄っ子テストに向けて集中して学習に取り組んだことが、合格者や満点者の増加につながった。目標を意識した取組が成果として表れている。

2 課題として考えられる点

(1) 家庭読書の取組定着の個人差

改善が見られる項目がある一方で、その変化がすべての児童に十分広がっているかについては、継続的に見取る必要がある。

(2) メディアコントロールの継続

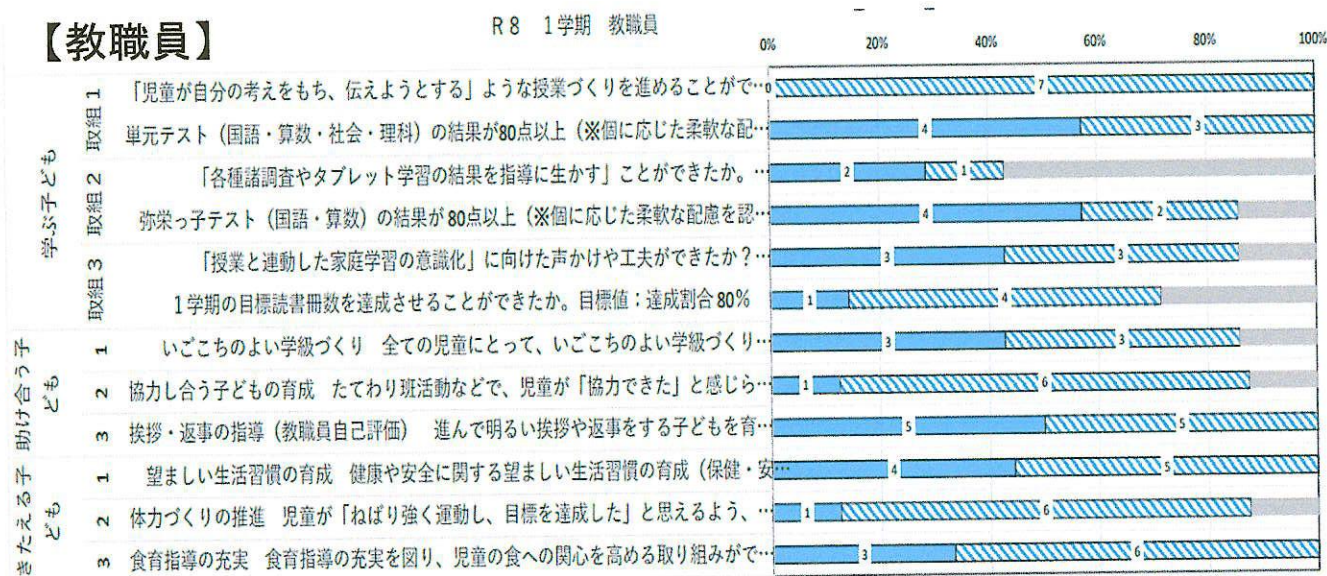
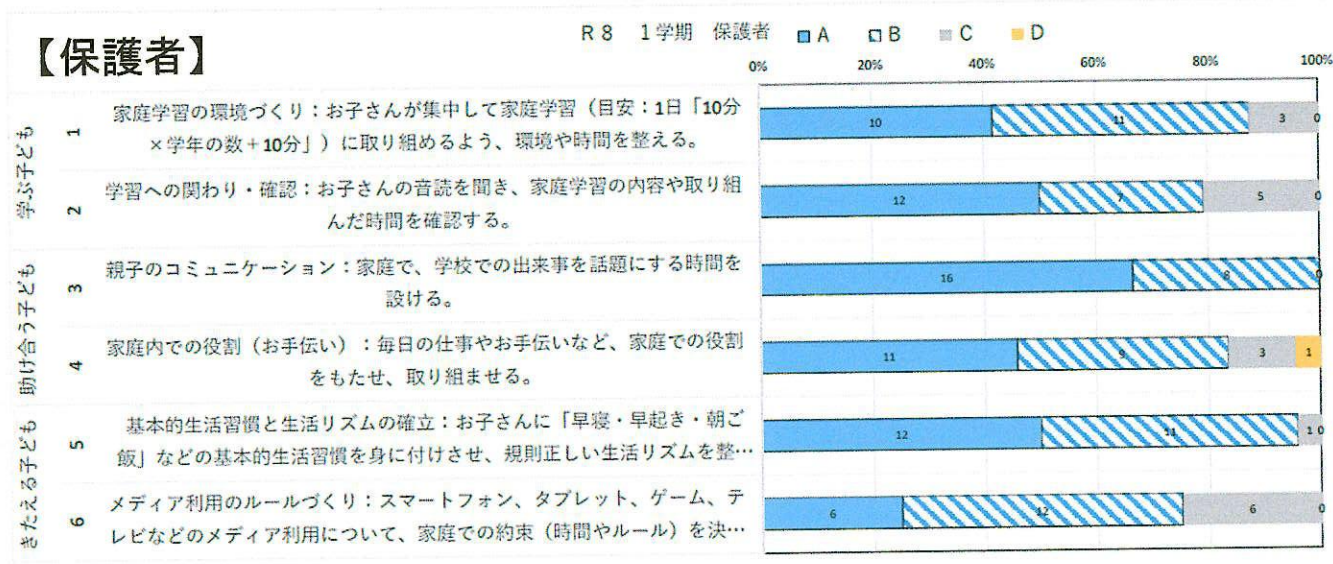
メディアとの関わり方については、意識して取り組めた児童がいる一方で、長期的な習慣化には課題が残る。

(3) 家庭環境による差への対応

読書や家庭学習の取組には家庭環境の違いも影響すると考えられるため、家庭任せにせず、学校として継続しやすい支援や働きかけを工夫する必要がある。

②1学期「まなびフェスト」ふり返りの結果

お忙しい中、まなびフェスト振り返りのご協力をいただき、誠にありがとうございました。お陰様で100%の回答率でした。結果やご意見を2学期以降の学校運営に生かして参ります。1学期末に「児童」の結果をお伝えしましたが、「保護者」と「教職員」の結果は下記の通りです。



○自由記述

- ・業務を整理しスリム化を図りつつ、子ども達や先生方、保護者や地域に無理なく最大限の教育活動を保障してくださっていることに感謝しております。
- ・限られた人数の職員の皆様の中で一生懸命尽力くださりいつもありがたく思っています。これからもよろしくお願いします。
- ・子ども達に真摯に向き合っていただき、感謝しております。勉強に対しても前向きに取り組むことができます。これからもよろしくお願い致します。

▲宿題に時間がかかりすぎることに困っている。→みんなができる量を全員共通の家庭学習とし、習熟度に合わせた課題は一人勉強で補わせる。

▲子供からの情報では学習環境の課題が少なくないように感じます。ご事情もあると思いますが、全ての子どもが安心して学習できる環境を整えていただきたいと思います。→不安や悩みを抱えた児童もいる。一人一人に寄り添いながら興味関心にあった個別最適な学びを考えていく。

○結果から

多くの項目については、数値目標としている肯定的な回答（◎や○、AやB）の割合80%超を達成しました。未達成であったのは以下の通りです。

【保護者】

- ・お子さんの音読を聞き、家庭学習の内容や取り組んだ時間を確認する。
- ・スマートフォン、タブレット、ゲーム、テレビなどのメディア利用について、家庭での約束を決めて守らせる。

Ⅰ 学期末「三部会」会議

知育部会

メンバー：皆川・菊地・校長

<検討事項>

▲「個別最適な学び」における ICT 活用

・ 個別最適な自分にあったまなびのスタイルを追求していくためには AIドリル(キュービナ)や諸調査結果の積極的活用が必要である。また、学習習慣づくりのための「キュービナ等の効果的 ICT 活用」が課題として挙げられている。ICTや諸調査結果を授業や個別指導にどのように活かしていくか。

▲「わかる授業」の前提となるユニバーサルデザイン(環境面)の整備

・ 授業開始前に、1 時間の授業の流れを児童に示したい。そのことによって学習リーダー中心に何をすればいいのかわかり、ある程度自分たちで進められるようになる。そのための示し方をそろえていきたい。

▲「宿題の量や質」への配慮(学校・家庭共通の課題)

・ 定期的な家庭学習の質と量の見直しをどのように行っていくか。

<2 学期以降の取組について>

・ ICT について

→タブレットの持ち帰りの回数を、これまでは週一回だったが週二回に増やしていく。

→キュービナの活用回数を増やし、児童の学習定着度の分析を進めていく。

・ ユニバーサルデザインの整備

→研究部で出している授業の進行表や掲示を活用する。

・ 「宿題の量や質」への配慮

→週末は、1 日分の宿題と家庭読書を行い、読書の感想を書く。(1 人勉強ノートの半分くらい。1・2年は学年に応じた量。)感想については、担任が宿題の量が足りない児童は、一人勉強ノートで調整する。

終末に借りる本の種類を担任が指定するなど、読む本が偏らないようにする。

→平日の宿題については、誰もが終えられる時間・量+1 人勉強とする。学年×10+10 分と

Ⅰ 学期末「三部会」会議

R8.7.23

第Ⅰ学期の経営反省から、2学期以降の具体的な取組について検討をお願いします。また、必要に応じて部会として課題と思われる内容があれば話し合ってください。

徳育部会

メンバー：田中・小野寺・副校長

<検討事項>

▲ 見通しを持った計画(児童会)と全体を巻き込む工夫

・ 児童会児童・担当の負担が大きい、児童会児童だけでなく学校全体を巻き込み、各委員会、各学級も一緒に責任をもって活動できる仕組みを整えたい。そのために、いつ、だれが、どのタイミングで、どのように活動すればよいのか見通しをもっていきたい。そのための計画を作成したい。

▲ たてわり活動の場の確保

・ 異年齢での協力体制は清掃ではうまくいっているものの、「清掃や活動の場で、さらに互いの良さに気づかせる」という点においては、まだ場づくりができておらず、活動の幅が狭い。どのように場をひろげていくか。

<2学期以降の取組について>

<見通しを持った計画(児童会)と全体を巻き込む工夫>

○児童のつどいの進行や、あいさつ運動、縦割り班遊びについて、各学年や縦割り班の班長に児童会の一員として役割を担ってもらう。

○児童のつどい(進行分担)

9月8日(火)：4年生 10月14日(水)：3年生
11月11日(水)：1・2年 12月8日(火)：5・6年生

○あいさつ運動

9月14日(月)：1・2年+児童会 15日(火)：3年
16日(水)：4年 17日(木)：5年 18日(金)：6年

○縦割り班遊び 9月中

9月2日(火)の代表委員会で知らせる→遊びの内容を児童会掲示板に記入する
→当日班長を中心に実施

○学習発表会スローガン、認め合いの木取り組み

9月18日(金)委員会でスローガンの決め方の話し合い
10月9日(金)委員会でスローガン決定
10月13日(火)～24日(土)認め合いの木取り組み実施

○いじめ防止取り組み 11月16日((月)～24日(火)実施

あったか言葉の木との抱き合わせ

○歳末助け合い募金

12月8日の代表委員会で提案→15日(火)～17日(木)実施

○代表委員会日程

9月1日(火)、10月6日(火)、11月10日(火)、12月8日(火)

＜たてわり活動の場の確保＞

○互いのよさを伝え合うために

清掃を始める前に「今日は〇〇さんと〇〇さんのいいところを見つけよう」と1日につき2人決めて清掃をし、反省会を行う。また、縦割り班遊びのふり返りの際、下学年は班長にお礼や感謝の言葉を、班長はみんなに感謝の一言を伝え合う。

お疲れ様でした。話し合われたことを整理し入力して、8月20日（木）の職員会議で提案をお願いします。この様式は ！R8 年度フォルダ＞00 職員会議資料＞⑤★9月提案＞R8 三部会様式に入っています。資料は職員会議資料提出日 8/4（火）までに副校長先生へ

Ⅰ 学期末「三部会」会議

体育部会

メンバー：熱海・高橋

<検討事項>

▲「努力の積み重ね」を促すための対策、朝の運動時間の捻出

・運動会や記録会といったイベント(本番)ではひたむきに頑張るものの、「日常の地道な努力(体力づくり)を避けたがる」という傾向がある。地道に努力する態度を導くための指導をどのように行っていくか。

・朝の走る時間を確保するため、「毎朝の挨拶行列をやめる」「8時になったらすぐ走り出せるよう、登校後の支度を早めさせる」といった、学校のルーティン自体をダイナミックに見直していきたい(朝の時間の使い方を変える)。どのようにするか。

▲ 家庭への切り込み(個別メディア指導の必要性)

・ノーメディアチャレンジ等の啓発活動は行っているものの、メディア使用については、個別での特別な指導が必要な児童がいる。全体への呼びかけだけでは限界に来ており、保護者を巻き込んだ個別の働きかけをどのようにしていくか。

<2学期以降の取組について>

★朝マラソン(2学期からスタート)

・校長先生の立ち挨拶はなし。マラソン終わりの出迎えをしていただく。

・ランドセル置き場 1・2年生：教室へ

3・4年生：職員室掲示板下

5・6年生：体育館前廊下

・ランドセル置き方は統一。『壁側にランドセルの鍵が向くように置く。その他の荷物はその上』

・職員室には入らず職員室前で、「おはようございます。運動終わりました。」と挨拶をする。

※職員室ドアは開けておく。

★朝運動(今年度は9月初旬まで マラソン大会(10/2)前は、朝マラソン+マラソン)

校庭 ①鉄棒②うんてい・登り棒③ボール投げ

体育館 ①肋木②反復横跳び・柔軟③ボール投げ 各4分 各学年で動く

★メディア

・来年度2・3学期のどちらかの授業参観日に講演会を実施する。(講師：助産師 藤原咲子先生)

(2) 学校支援活動の推進について

①メディアとの付き合い方について向上を図る手立て

ア 1 学期の学びフェスト振り返りの反省から(P2・P3参照)

【児童】

- ・タイマーや端末の時間設定機能の活用など、具体的な手立てを講じて、自分が決めたメディア利用のルールを守ろうとする様子が見られた。
- ・メディア利用に関する意識が高まり、それを実際に行動に移せるようになってきた。その分、読書の時間を確保できた。

【保護者】

- ・「お子様は、スマホ・タブレット・パソコン・テレビ等のメディア等で決めた約束を守っていますか」の設問

	世帯数	A	B	C	D
令和7年度	28	25%(7 人)	36%(10 人)	39%(11 人)	0%(0 人)
令和8年度	25	27%(6 人)	50%(11 人)	23%(5 人)	0%(0 人)

- ・令和8年度は、ABの肯定的な回答が増え、CDの否定的な回答が減少した
- ・取組の成果が表れている。

イ 夏休みのメディアの取組結果から

夏休みのメディアの取組の結果

- ①夜8時になったら、家の人にデジタル機器を預けて使わない。
- ②家庭学習が終わるまでテレビ・ゲームは使わない。
- ③家の人と決めた使用時間を守る。

守れた日数が8割以上の人の割合

	①		②		③	
	R7	R8	R7	R8	R7	R8
1年生	100%	100%	75%	100%	50%	100%
2年生	100%	100%	71%	100%	86%	100%
3年生	80%	57.1%	60%	71.4%	60%	57.1%
4年生	60%	20%	60%	40%	40%	40%
5年生	88%	66.6%	88%	66.6%	75%	33.3%
6年生	71%	100%	57%	100%	86%	100%

- ・決めたメディアルールを守ろうとする遵守率は全体的に高まっている。
- ・6年生は遵守できているが、学年が進むにつれてメディア利用の自己管理が難しくなる傾向にある。

イ ノーメディアデーの継続的な取り組みについて

- ・年間4回(6月・9月・11月・2月)実施する
- ・小中合同(一関東中学校・滝沢小学校・弥栄小学校)で実施

※お読みください。
笑顔に癒やしましょう。

「ノーメディアチャレンジ」カード

(テレビ・DVD・ゲーム・パソコン・スマホ・タブレットを見ない・しない期間をつくろう)

第 第 第 第

★6月・9月・11月・2月に6日間、実施します。あなたはどのコースにチャレンジしますか？
家族とも話し合い決めてから取り組みましょう。 ※学習の時間は除きます。

ひらひらかいこ コース	絶からぬまでノーメディア ★1日全くテレビ・ゲーム・パソコンなどを見ない・しない【上級者コース】です。
まゆっこかいこ コース	メディア1日1時間まで ★メディア時間を1日1時間にする【中級者コース】です。
もくもくかいこ コース	メディア1日2時間まで ★メディア時間を1日2時間にする【初級者コース】です。

タイマーを越えて
みるといいね！

得れたら「○」、得られなかったら「×」をつけましょう！

○○コースに 挑戦します！	6/19(金)	6/20(土)	6/21(日)	6/22(月)	6/23(火)	6/24(水)	おうちの からのサイン
コース							
○○コースに 挑戦します！	9/23(水)	9/24(木)	9/25(金)	9/26(土)	9/27(日)	9/28(月)	おうちの からのサイン
コース							
○○コースに 挑戦します！	11/20(金)	11/21(土)	11/22(日)	11/23(月)	11/24(火)	11/25(水)	おうちの からのサイン
コース							
○○コースに 挑戦します！	2/5(金)	2/6(土)	2/7(日)	2/8(月)	2/9(火)	2/10(水)	おうちの からのサイン
コース							

<自分の振り返り> (がんばったこと・進歩がほしいこと)



<がんばったお子さんへのメッセージ>




②学校サポーターの取組

- ・学校サポーター・ボランティアのご協力ご支援のもと、充実した授業を行うことができました。今年度もどうぞよろしくお願いいたします。

昨年度(令和7年度)の取組状況

9/2(火)・5(金) ミシンボランティア
10/29(水) のこぎりボランティア
1/22(木) 版画ボランティア

この他にもたくさんご協力いただきました。



今年度(令和8年度)の取組

6/1(月) プール清掃ボランティア

- ・ミシンサポーター 9/30(水) 10/5(月)
- ・のこぎり・金づち打ちサポート 10月頃
- ・版画・彫刻刀・印刷サポート 1月頃

この他にもお声をかけます。ご協力ください。

③その他

ア. 学校環境整備

- ・下記活動実施後の状況を見て必要な場合、また降雨となり中止となった場合は、地域にも1週間程度の期間を設け、校庭の草刈りへの協力を呼びかけたい。

【環境整備に係る学校の活動予定】

・秋季PTA奉仕作業 9/26(土)

イ. その他

(3) 弥栄っ子に望む姿について

①令和7年度 第1回学校運営支援協議会の記録(一部抜粋)

委員 中学校の卒業式や入学式で弥栄小の卒業生が送辞や答辞を読んでいるのをみると鼻が高くなる。

校長 文化祭で「いやさか太鼓」を発表しようと卒業生たちが自主的に頑張ったという話を聞いた。自信をもてればどんどん前に進んでいける子どもたちである。

委員 進学前に滝沢小学校の子どもたちと交流する機会はあるのか伺いたい。

事務局 毎年6年生で交流学习を設けてきた。昨年度は一緒にプログラミング学習を行った。今年も行う予定である。また、今年度からは新たな取組として5年生が北上川調査船「ゆはず」と一緒に乗船し交流する予定である。

委員 確かに進学後の様子をみると委縮を感じる。自己肯定感や自己有用感を育むのは大きな課題であるが難しい。ぜひ、学級や地域をこのようにしたいという、自分以外のところに目を向けさせ思いを持たせたい。その中で活躍できるようにさせていきたい

②令和7年度 第1回学校運営支援協議会の記録(一部抜粋)

委員 中学校に進学してから不登校になってしまうという話を聞いた。ぜひ、滝沢小との交流を6年生になってからだけでなく、4年生や5年生のうちからたくさん取り入れていきたい。新しい出会いが、より良い学習環境を育む、そして、多様な他者と交流したり話したりするきっかけにもなる。

事務局 これまで6年生同士の学習交流や5年生同士の自動車工場見学を行ってきた。今年度は新たに、5年生同士での北上川調査船「ゆはず」乗船体験を設けた。滝沢小とも、今後増やしていくことを確認している。

③令和7年度 第3回学校運営支援協議会の記録(一部抜粋)

委員 「自己決定の場の充実」はとても良い。誰かにつられてではなく、自分の判断によるところを大切にしていきたい。立派でなくていいので、自分の気持ちを言えるようにしていきたい。

校長 互いの気持ちを押し量り、互いの気持ちを察し合うというところは他よりもできている。学年が進むにつれ思春期に入るためか内に秘めて悩みを抱える傾向にある。これまでも行ってきたが、集まって互いの意見を言い合える場面を学習のなかにどんどん設け取り入れていきたい。

委員 少人数で過ごしてきたことにより、大勢のなかに埋没してしまうことを心配する声も聞こえる。しかし、少人数の方が自分の考えや意見を表現する機会は多い。さらに、複式授業のように、先生に頼らず自分たちの力だけでやらなければならないこともある。少人数の短所はもちろんあるが、長所だってある。少人数のよさは、後で必ず生きてくると信じている。

④令和8年度 第1回学校運営支援協議会の記録(一部抜粋)

委員 子どもたちの挨拶する姿、一生懸命な姿をみて、先生方とてもよく頑張ってくれていると感じた。それは、校長先生や体育担当の先生の話の中にもよく表れていた。学校は、頑張ること、耐えること、関わり方を学ぶ場だと思っている。日々の日常の指導の成果がよく分かった。是枝監督のインタビューを聞いた。是枝監督はA Iに頼ることなく手書きで台本を書いているそうだ。A Iに頼れば一遍とおりになってしまいオリジナル性が失われる。同じように、子ども同士の気持ちの交流をとおして学び認め合えるようにしていきたい。

事務局 認め合いは大切にしていきたい。一人ひとりの日常の学校生活での活躍、行事での活躍など、活躍をとおして認め合えるようにしていきたい。認め合いができれば絶対にいじめ等は発生しないと考えている。



～ 弥栄っ子に望む姿 ～

**「自己肯定感と自己有用感をもち、
自信をもって主体的に取り組む弥栄っ子」**

【弥栄っ子今後の課題】

「考えること」「伝えること」「自己決定力」を育てる

「弥栄っ子に望む姿」の具現化に向けた取り組み

5. その他〈連絡事項など〉

今後の予定 ※○＝案内を送付

・ 9月25日(金)世代間交流会(校内低学年祖父母交流会)

・ 10月 2日(金)校内マラソン大会

○ 10月24日(土)学習発表会

○ 11月20日(金)授業参観・学校保健委員会

・ 1月29日(金)校内なわとび大会

○ 2月25日(金)授業参観

・ 2月 5日(金)授業参観日

・ 2月25日(木)6年生ありがとう集会・太鼓引継式

○ 2月26日(金)第3回学校運営支援協議会

○ 3月19日(金)卒業証書授与式

非常時(大地震・台風・豪雨等の特別警報発令)の対応について

※ 登校前に特別警報が発令された場合は、ご家庭で待機してください。その後の対応については、まなびポケットでお知らせします。また、特別警報が発令されていない場合でも、通学路の状況や天候等からご家庭で危険と判断された際は、登校を遅らせる、または欠席する等、命を守る行動を最優先にしてください。

登校前

① **特別警報（レベル3以上）が解除されるまで** ⇒ **自宅待機**

② **被害が予想される場合**
⇒ **家族と一緒に避難**

* 午前中に特別警報が解除されない場合は、終日臨時休校となります。

家庭で対応**登下校の途中**

① **大人と一緒にの時（スクールバス乗車中も含む）**

⇒ **大人の判断で行動（帰宅、避難）**

② **子どもだけの時**

⇒ **自分の判断で行動**

“危険”と感じたら、「家へ戻る」か「学校へ行く」（近い方）、「『こども110番の家』や近くの民家」にかけ込む」

家庭・地域で対応**学校にいる時**

① **学校の判断で行動（待機、避難）**

⇒ **待機**

安全が確認できるまで校舎内で待機する。

⇒ **引き渡し**

授業をやめ、保護者または代理引取人の迎えを待ち、保護者または代理引取人に引き渡す。

学校で対応